

授業科目	CAD／CAM		担当教員	田中 聖一		
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	CAD/CAM システムを理解する。					
到達目標	CAD/CAM システムでの利用可能な材料や分類、メリット、構成要素などを学び、設計を習得する。					
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	0	実習製作物によって評価する。			
	レポート	0				
	小テスト	0				
	提出物	100				
	その他	0				
履修上の留意事項	材料を含め取り扱いに留意する。					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	CAD／CAM について	概要 基本的製作手順			
	2	CAD／CAM について	歴史 構成 材料			
	3	CAD／CAM 左上1 硬質レジン	スキャン			
	4	CAD／CAM 左上1 硬質レジン	デザイン			
	5	CAD／CAM 右上6 レジンクラウン	スキャン			
	6	CAD／CAM 右上6 レジンクラウン	デザイン			
	7	CAD／CAM 左上1 硬質レジン	復習 応用			
	8	CAD／CAM 右上6 レジンクラウン	〃			
	9	CAD／CAM 左下6 単冠	デザイン			
	10	CAD／CAM 左上1 3単冠	〃			
	11	CAD／CAM 右上456ブリッジ	〃			
	12	CAD／CAM 左上1234ブリッジ	〃			
	13	CAD／CAM 左下456、ブリッジ	過去に製作した模型の中からデザイン			
	14	CAD／CAM 左下456、ブリッジ	〃			
	15	CAD／CAM デザイン	左上1 硬質レジン ワックスの適合調整			
	16	CAD／CAM デザイン	〃			
	17	CAD／CAM デザイン	左上1 硬質レジン 埋没			
	18	CAD／CAM デザイン	左上1 硬質レジン 鑄造			
19	CAD／CAM レジン冠	左上1 硬質レジン 適合調整				

	20	CAD/CAM レジン冠	左上1 硬質レジン 研磨
	21	CAD/CAM レジン冠	硬質レジン築盛
	22	CAD/CAM レジン冠	硬質レジン築盛
	23	CAD/CAM レジン冠	硬質レジン築盛
	24	CAD/CAM レジン冠	完成
	25	CAD/CAM レジン冠	右上6 レジクラウンの適合調整
	26	CAD/CAM レジン冠	〃
	27	CAD/CAM レジン冠	右上6 レジクラウンの研磨
	28	CAD/CAM レジン冠	左上1 右上6 完成
	29	3D プリンター	デザイン
	30	3D プリンター	加工

[illegible]

授業科目	顎顔面補綴	担当教員	田中 聖一		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15回	時間数	30時間
授業目的	口腔顎顔面領域の特徴や多彩や専門分野によるチーム医療を知る。				
到達目標	顎顔面補綴の意義やと目的、装置の種類を学び、製作法を習得する。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版) 口腔・顎顔面技工学 口腔顎顔面技工実習帳				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	実習製作物によって評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	100			
	その他	0			
履修上の留意事項	教本などを中心に進める。提出期限を厳守すること。最先端分野であり材料を含め取り扱いに留意すること。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	口腔外科技工とは	口腔外科手術全般		
	2	顎顔面補綴とは	歴史 材料 製作方法 エピテーゼとは」		
	3	義眼	位置調整など		
	4	ワックスエピテーゼ	ワックスアップ 貼り付け		
	5	ワックスエピテーゼ	ワックスアップ 盛り上げ 彫刻		
	6	ワックスエピテーゼ	ワックスアップ 盛り上げ 彫刻		
	7	ワックスエピテーゼ	ワックスアップ 表面テクスチャー付与		
	8	ワックスエピテーゼ	〃		
	9	エピテーゼ専用シリコーン 填入	石膏コア		
	10	内部着色	内部着色		
	11	エピテーゼ専用シリコーン 填入	シリコーン填入		
	12	外部着色	外部着色		
	13	植毛	植毛		
	14	調整	調整		
	15	完成	まとめ (使用方法 メンテナンス リコール時対応など)		

[illegible]

授業科目	矯正歯科技工学実習	担当教員	倉光 綾香		
対象年次・学期	2 年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	矯正歯科技工の基礎および一般的な歯科矯正装置の製作法を学ぶ。				
到達目標	矯正歯科技工に用いられる器械・器具と材料および各種装置の特徴などについて説明でき、円滑に製作することができる。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学 (医歯薬出版) 矯正歯科技工学 小児歯科技工学 (歯科技工学実習トレーニング) 歯学生のための歯科矯正学 歯科矯正学入門 (医歯薬出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	実習製作物によって評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	100			
	その他	0			
履修上の留意事項	教本、プリントなどを中心に進める。提出期日は厳守すること。メモを取りながら受講すること。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	舌側孤線装置製作 模型製作	舌側孤線装置の目的・構成・製作法・作業用模型完・バンドの適合		
	2	ST ロック鑑付	バンドと ST ロックの仮着・自在鑑付・研磨		
	3	脚部屈曲	脚部の屈曲		
	4	主線屈曲・鑑付	主線の屈曲 主線と脚部の鑑付		
	5	研磨・完成・提出	研磨・模型への適合確認		
	6	ホーレーの保定装置製作 模型製作	ホーレーの保定装置の目的・構成・製作法・作業用模型完成		
	7	接歯唇側線の屈曲	上顎 4 前歯唇側部と犬歯ループ部の屈曲		
	8	接歯唇側線の屈曲	脚部の屈曲		
	9	単純鉤屈曲	近心頬側部から遠心歯頸部までの屈曲		
	10	単純鉤屈曲	脚部の屈曲		
	11	アダムスのクラスプ屈曲	アダムスのクラスプの屈曲		
	12	レジン築盛	レジン重合前準備、ふりかけ法および筆積み法の築盛		
	13	研磨	形態修正 粗研磨		
	14	研磨	中研磨 レーズ研磨		
	15	完成・提出	完成 模型への適合確認		

[illegible]

授業科目	口腔解剖学実習Ⅱ		担当教員	田中 聖一		
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	各歯における形態の特徴をとらえ、再現できる。					
到達目標	歯科技工の基礎である歯の形態を特徴をとらえながら、それぞれ30分以内で彫刻することができる。					
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 (医歯薬出版) 歯の解剖 歯のデッサンと歯型彫刻 (歯科技工学実習トレーニング) カービングガイド					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100	実技試験による外形、溝、表面性状、寸法などによって評価する。			
	レポート	0				
	小テスト	0				
	提出物	0				
	その他	0				
履修上の留意事項	教本、カービングガイドなどによって進める。提出期日は厳守すること。目標に到達できるよう自分でペース配分などを考えながら受講すること。					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	上顎中切歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	2	上顎側切歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	3	上顎犬歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	4	上顎第一小臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	5	上顎第二小臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	6	上顎第一大臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	7	上顎第二大臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	8	下顎第一小臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	9	オールソー	デッサン1本 (10分) 左右2本彫刻 (80分)			
	10	下顎第二小臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 、左右2本彫刻 (80分)			
	11	下顎第一大臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 、左右2本彫刻 (80分)			
	12	下顎第二大臼歯 彫刻	デッサン1本 (10分) 、左右2本彫刻 (80分)			
	13	上1 上6 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
	14	上3 下6 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
	15	上4 下5 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
	16	上5 下4 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
	17	上6 下6 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
	18	上7 下3 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
	19	上1 下4 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
	20	上2 下5 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修正 (10分)			
21	上3 上6 彫刻	デッサン2本 (20分) 模型なしで彫刻2本 (60分) 修				

			正 (10 分)	
	22	上 4 下 3 彫刻	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	23	上 5 下 4 彫刻	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	24	上 6 下 5 彫刻	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	25	上 7 下 6 彫刻	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	26	上下顎右側 中切歯	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	27	上下顎左側 犬歯	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	28	上下顎右側 第一小臼歯	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	29	上下顎左側 第二小臼歯	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修
	30	上下顎右側 第一大臼歯	デッサン 2 本 (20 分) 模型なしで彫刻 2 本 (60 分) 修正 (10 分)	修

[illegible]

授業科目	歯科技工実習		担当教員	田中 聖一	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	120回	時間数
授業目的	歯科技工に関する基礎的な知識と技術をもとに、臨床技工における新しい分野を学ぶ。				
到達目標	臨床的模型を使い、より実践的な技工ができるとともに、自分で考えながら製作することができる。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	それぞれの提出物で評価する。 その他として全国歯科技工士養成機関連絡協議会が実施する実技評価試験を30%とする。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	70			
	その他	30			
履修上の留意事項	臨床的模型実習は、担当要員が作成する歯科技工指示書に基づいて行うこと。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ①	OP アンカーアタッチメントの製作 (下顎総義歯) 模型製作		
	2	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ①	作業用模型作製 (下顎左側ブリッジ)		
	3	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ② ワックスアップ	ワックスアップ 下顎左側第二小臼歯 第二大臼歯		
	4	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ③	ポンティック (下顎左側第一大臼歯) キーウェイの設定スペースとキーアンドキーウェイの挿入方向の決定		
	5	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ② 下顎総義歯の製作	蠟堤作製		
	6	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ④ ミリング	ミリングマシンでガイドプレーン、ボックス部の形成		
	7	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ⑤ 埋没・鑄造	グループの形成 ワックスミリングの仕上げ 埋没		
	8	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ③ 下顎総義歯の製作	蠟堤作製		
	9	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ⑥	メタルミリング ガイドプレーンの研磨		
	10	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ④	人工歯排列		
	11	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ⑦	キー部レジンパターン製作 連結 埋没		
	12	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ⑧	埋没		
	13	臨床的模型実習 キーアンドキーウェイの製作 ⑨	研磨 完成		
	14	臨床的模型実習 分割コア①	模型作製		
15	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑤	人工歯排列			

16	臨床的模型実習 分割コア ② ワックスアップ 埋没 鑄造	舌側根のダウエルピンの適合・調節 ワックスアップ 埋没
17	臨床的模型実習 分割コア ③ ワックスアップ 埋没 鑄造	分割ポスト部形態修正 ステップ形成 ワックスアップ 埋没
18	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑥	人工歯排列
19	臨床的模型実習 分割コア ④	適合確認 維持部形成 完成
20	顎口腔機能学 ① 歯の接触様式について	咬合様式 人工歯の削合 咬合小面
21	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑦	歯肉形成
22	顎口腔機能学 ② 全部床義歯による両側性平衡咬合の再現	選択削合
23	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑧	重合 (流し込み) 研磨
24	顎口腔機能学 ③ 全部床義歯による両側性平衡咬合の再現	自動削合
25	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑨	研磨
26	顎口腔機能学 ④ 咬合器の機構と分類	半調節性咬合器 (プロアーチ II G) の各部の名称や取り扱い方
27	顎口腔機能学 ⑤ フェイスボウトランスファ	前方基準点 後方基準点
28	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑩	トリミング
29	顎口腔機能学 ⑥ フェイスボウトランスファ	フェイスボウ各部の名称と取り扱い方 フェイスボウトランスファ
30	顎口腔機能学 ⑦ フェイスボウトランスファ 上顎模型装着	バイトフォーク上に上顎模型を適合 装着
31	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑪ メール部の製作	ワックスアップ メールパターンの取り付け 埋没
32	顎口腔機能学 ⑧ フェイスボウトランスファ 咬合採得	下顎模型装着
33	顎口腔機能学 ⑨ フェイスボウトランスファ 下顎模型装着	装着部石膏調整 完了
34	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑫ メール部完成	研磨 メール部の完成
35	顎口腔機能学 ⑩ 顎路角の計測とまとめ	顎路角調整
36	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑬ フィメール部の製作	フィメールキャップの製作
37	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑭ 完成	常温重合レジンで固定
38	臨床的模型実習	個別の模型における臨床的模型実習 最低 15 ポイント以上
39	臨床的模型実習	感修部門 部分被覆冠 全部被覆冠 テンポラリー (ファイバーコア ジャケット含む)
40	臨床的模型実習	有床部門 部分床義歯
41	臨床的模型実習	その他

	42	臨床の模型実習	//
	43	臨床の模型実習	//
	44	臨床の模型実習	//
	45	臨床の模型実習	//
	46	臨床の模型実習	//
	47	臨床の模型実習	//
	48	臨床の模型実習	//
	49	臨床の模型実習	//
	50	臨床の模型実習	//
	51	臨床の模型実習	//
	52	臨床の模型実習	//
	53	臨床の模型実習	//
	54	臨床の模型実習	//
	55	臨床の模型実習	//
	56	臨床の模型実習	//
	57	臨床の模型実習	//
	58	臨床の模型実習	//
	59	臨床の模型実習	//
	60	臨床の模型実習	//
	61	臨床の模型実習	//
	62	臨床の模型実習	//
	63	臨床の模型実習	//
	64	臨床の模型実習	//
	65	臨床の模型実習	//
	66	臨床の模型実習	//
	67	臨床の模型実習	//
	68	臨床の模型実習	//
	69	臨床の模型実習	//
	70	臨床の模型実習	//
	71	臨床の模型実習	//
	72	臨床の模型実習	//
	73	臨床の模型実習	//
	74	臨床の模型実習	//
	75	臨床の模型実習	//
	76	臨床の模型実習	//
	77	臨床の模型実習	//
	78	臨床の模型実習	//
	79	臨床の模型実習	//
	80	臨床の模型実習	//
	81	臨床の模型実習	//
	82	全部床義齒 排列	上下顎前歯部排列
	83	全部床義齒 排列	上下顎臼歯部排列

	84	全部床義歯 排列	排列完了 パラフィンワックス盛り上げ
	85	全部床義歯 歯肉形成	上顎歯肉形成
	86	全部床義歯 歯肉形成	下顎歯肉形成
	87	全部金属冠ワックスアップ①	下顎右側第一大臼歯
	88	蠟堤・カービング	蠟堤製作 カービング
	89	蠟堤・カービング	蠟堤製作 カービング
	90	全部床義歯排列・歯肉形成①	2時間半で排列・歯肉形成 (排列重視)
	91	全部床義歯排列・歯肉形成①	〃
	92	全部床修正	前日全部床修正
	93	全部床修正	〃
	94	蠟堤・カービング	蠟堤製作 カービング
	95	全部床義歯排列・歯肉形成②	2時間半で排列・歯肉形成 (排列重視)
	96	全部床義歯排列・歯肉形成②	〃
	97	全部金属冠ワックスアップ②	下顎右側第一大臼歯
	98	全部床修正	前日全部床修正
	99	全部床修正	〃
	100	蠟堤・カービング	蠟堤製作 カービング
	101	全部床義歯排列・歯肉形成③	2時間半で排列・歯肉形成 (排列重視)
	102	全部床義歯排列・歯肉形成③	〃
	103	全部金属冠ワックスアップ③	下顎右側第一大臼歯
	104	全部床修正	前日全部床修正
	105	蠟堤	蠟堤製作
	106	全部床義歯排列・歯肉形成④	2時間半で排列・歯肉形成 (歯肉形成重視)
	107	全部床義歯排列・歯肉形成④	〃
	108	全部金属冠ワックスアップ④	下顎右側第一大臼歯
	109	全部床修正	2時間半で排列・歯肉形成 (歯肉形成重視)
	110	全部床修正	〃
	111	蠟堤	蠟堤製作
	112	全部床義歯排列・歯肉形成⑤	2時間半で排列・歯肉形成 (歯肉形成重視)
	113	全部床義歯排列・歯肉形成⑤	〃
	114	全部金属冠ワックスアップ⑤	下顎右側第一大臼歯
	115	全部床修正	2時間半で排列・歯肉形成 (歯肉形成重視)
	116	全部床修正	〃
	117	蠟堤	蠟堤製作
	118	全部床義歯排列・歯肉形成⑥	2時間半で排列・歯肉形成 (歯肉形成重視)
	119	全部床義歯排列・歯肉形成⑥	〃
	120	金属冠ワックスアップ⑥	下顎右側第一大臼歯

[illegible]

授業科目	歯冠修復技工学実習Ⅱ		担当教員	田中 聖一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	45回	時間数
授業目的	基本形態にそって製作するだけでなく、咬合や審美性などを考慮しながら機能的な歯冠修復物の製作を学ぶ。				
到達目標	各補綴物の特徴や使用材料、および製作方法などを説明でき、適正に製作することができる。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 (医歯薬出版) 歯科技工実習 歯冠修復技工学 (歯科技工学実習トレーニング)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	実習製作物によって評価をする。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	100			
	その他	0			
履修上の留意事項	教本を中心に進める。提出期日は厳守すること。メモを取りながら進めること。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	部分被覆冠製作 模型製作	模型製作		
	2	咬合器装着	トリミング 咬合器装着		
	3	4/5冠 ワックスアップ	上顎左側第一小臼歯外形		
	4	〃	上顎左側第一小臼歯咬合面		
	5	4/5冠 ワックスアップ	上顎左側第二大臼歯外形		
	6	〃	上顎左側第二大臼歯咬合面		
	7	埋没	スプルー線植立 埋没		
	8	鑄造	鑄造		
	9	研磨	上顎左側第一小臼歯研磨		
	10	研磨	上顎左側第二大臼歯研磨		
	11	完成	完成		
	12	陶材焼付鑄造冠製作 (上顎左側中切歯)、ワックスアップ	概形のワックスアップ		
	13	ワックスアップ	概形のワックスアップ コア採得		
	14	窓開け	前装部窓開け		
	15	埋没	スプルー植立 埋没		
	16	鑄造	鑄造		
	17	メタル調整	メタル調整		
	18	ディギャッシング	メタル調整・ディギャッシング		
	19	陶材築盛	オパーク築盛		
	20	陶材築盛	オパーク築盛		
	21	陶材築盛	サービカル・デンティン築盛		
22	陶材築盛	エナメル・トランスルーセント築盛			

	23	形態修正	形態修正 (切縁・豊隆)
	24	形態修正	形態修正 (細部)
	25	グレース・研磨	グレース・メタル研磨
	26	完成	完成
	27	上顎前臼歯架工義歯製作、 (上顎左側犬歯・第1小白 歯・第2小白歯)、模型製 作	模型製作
	28	模型製作	トリミング 咬合器装着
	29	上顎左側犬歯のワックス アップ	概形ワックスアップ
	30	上顎左側犬歯のワックス アップ	細部ワックスアップ
	31	上顎左側第2小白歯のワッ クスアップ	概形ワックスアップ
	32	上顎左側第2小白歯のワッ クスアップ	細部ワックスアップ
	33	上顎左側第1小白歯のワッ クスアップ	概形ワックスアップ
	34	上顎左側第1小白歯のワッ クスアップ	細部ワックスアップ コア採得
	35	ポンティック基底面の形成	リッジラップ型形成
	36	連結・窓開け	レジン前装部窓開け 連結
	37	埋没	スプルー植立 維持付与 埋没
	38	鑄造	鑄造
	39	研磨	メタル粗研磨
	40	硬質レジン築盛	オペーク サービカル築盛
	41	硬質レジン築盛	デンティン築盛 インサイザル築盛
	42	形態修正	形態修正 (概形)
	43	形態修正・研磨	形態修正 (細部)
	44	研磨	研磨
	45	完成	完成

[illegible]

授業科目	小児歯科技工学実習	担当教員	倉光 綾香		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15回	時間数	30時間
授業目的	顎顔面の成長発育、歯の形態、咬合形態、機能などその年齢それぞれの特徴を把握し、小児に対して臨床に必要な技工操作を学ぶ。				
到達目標	小児の特徴を理解し、代表的な装置の構成要素や製作順序および製作法の注意点を理解し、製作できる。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学 (医歯薬出版) 矯正歯科技工学 小児歯科技工学 (歯科技工学実習トレーニング)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	実習製作物によって評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	100			
	その他	0			
履修上の留意事項	教本やプリントなどにより進める。提出期日は厳守すること。メモを取りながら進めること。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	クラウンループ保隙装置製作 模型製作	装置の目的 構成および製作法 模型製作 外形線記入 リリーフ		
	2	乳歯用既製冠適合	乳歯冠適合		
	3	ループ屈曲	ループ屈曲		
	4	鑑付け	鑑付け前準備 (埋没材固定) 鑑付け		
	5	研磨・完成・提出	研磨		
	6	可撤保隙装置製作 模型製作	装置の目的 構成および製作法 模型 外形線記入 リリーフ		
	7	唇側線屈曲	前歯部屈曲		
	8	唇側線屈曲	ループ部から脚部の屈曲		
	9	単純鉤屈曲	単純鉤屈曲		
	10	オクルーザルレスト屈曲	オクルーザルレスト屈曲		
	11	人工歯排列	上下顎人工歯排列		
	12	歯肉形成	歯肉形成		
	13	コア採得・レジン添加・削合	シリコンコア採得 レジン床盛り上げ 咬合面削合		
	14	形態修正	レジン床粗研磨まで		
	15	研磨・完成・提出	研磨		

[illegible]

授業科目	総合歯科技工実習Ⅱ		担当教員	田中 聖一	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	115回	時間数
授業目的	自主製作により、自主性を養う。また、自分の口腔内を理解する。				
到達目標	総合的な実習により、知識・技術を臨床の場面に適用する。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	実習製作物によって評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	100			
	その他	0			
履修上の留意事項	教本などを中心に進める。提出期限を厳守すること。テクニカルコンテストは、出品作品であり、材料を含めた完成時までのスケジュール表を事前に提出。（テクニカルコンテストの受賞選考にあたっては授業時間内で完成したもののみを対象とする。）臨床的模型実習は歯科技工指示書に基づいて行うこと。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	学校祭出品作品製作	個々の製作物決定 スケジュール表作成		
	2	学校祭出品作品製作	模型作製		
	3	学校祭出品作品製作	〃		
	4	学校祭出品作品製作	製作		
	5	学校祭出品作品製作	〃		
	6	学校祭出品作品製作	〃		
	7	学校祭出品作品製作	〃		
	8	学校祭出品作品製作	〃		
	9	学校祭出品作品製作	〃		
	10	学校祭出品作品製作	〃		
	11	学校祭出品作品製作	〃		
	12	学校祭出品作品製作	〃		
	13	学校祭出品作品製作	〃		
	14	学校祭出品作品製作	〃		
	15	学校祭出品作品製作	〃		
	16	学校祭出品作品製作	〃		
	17	学校祭出品作品製作	〃		
	18	学校祭出品作品製作	〃		
	19	学校祭出品作品製作	〃		
	20	学校祭出品作品製作	〃		
	21	学校祭出品作品製作	〃		
	22	学校祭出品作品製作	〃		

23	学校祭出品作品製作	〃
24	学校祭出品作品製作	〃
25	学校祭出品作品製作	〃
26	学校祭出品作品製作	〃
27	学校祭出品作品製作	〃
28	学校祭出品作品製作	〃
29	学校祭出品作品製作	〃
30	学校祭出品作品製作	〃
31	学校祭出品作品製作	〃
32	学校祭出品作品製作	〃
33	学校祭出品作品製作	〃
34	学校祭出品作品製作	完成
35	マウスガード	自分の模型を使用しマウスガードの製作 模型調整
36	マウスガード	外形線記入 ブロックアウト
37	平行模型	自分の模型を使用し平行模型製作 模型調整
38	マウスガード	分離塗布 シート軟化圧接 撤去 切り出し
39	マウスガード	辺縁調整 研磨
40	平行模型	上顎基底面高さ調整
41	個性的排列	自分の模型を使用し自分と同様の個性的前歯部排列歯肉形成を再現する。 模型修正 (上顎前歯歯槽部削除)
42	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列
43	平行模型	上顎基底面高さ調整 上顎模型台付け
44	平行模型	下顎基底面高さ調整
45	平行模型	下顎基底面高さ調整 下顎模型台付け
46	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列
47	平行模型	後縁の調整 各面のトリミング (トリマー)
48	平行模型	歯肉頬移行部のトリミング (カーバイドバー)
49	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列
50	平行模型	歯肉頬移行部のトリミング (パーパーコーン)
51	平行模型	ソーピング 完成
52	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列
53	個性的排列	歯肉形成
54	個性的排列	歯肉形成
55	個性的排列	埋没
56	個性的排列	レジン填入
57	個性的排列	割り出し 辺縁部修正 表面処理
58	総合実習	臨床的模型で製作
59	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
60	総合実習 ①	デッサン カービング ワイヤー屈曲
61	総合実習	〃
62	総合実習	臨床的模型で製作
63	総合実習	〃

64	総合実習	復習
65	総合実習 ②	デッサン カービング ワイヤー屈曲
66	総合実習	〃
67	総合実習	復習
68	総合実習	臨床的模型で製作
69	総合実習	〃
70	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
71	総合実習 ③	デッサン カービング ワイヤー屈曲
72	総合実習	〃
73	総合実習	復習
74	総合実習	臨床的模型で製作
75	総合実習	〃
76	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
77	総合実習 ④	デッサン カービング ワイヤー屈曲
78	総合実習	〃
79	総合実習	復習
80	総合実習	臨床的模型で製作
81	総合実習	〃
82	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
83	総合実習 ⑤	デッサン カービング ワイヤー屈曲
84	総合実習	〃
85	総合実習	復習
86	総合実習	臨床的模型で製作
87	総合実習	〃
88	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
89	総合実習 ⑥	デッサン カービング ワイヤー屈曲
90	総合実習	〃
91	総合実習	復習
92	総合実習	臨床的模型で製作
93	総合実習	〃
94	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
95	総合実習 ⑦	デッサン カービング ワイヤー屈曲
96	総合実習	〃
97	総合実習	復習
98	総合実習	臨床的模型で製作
99	総合実習	〃
100	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
101	総合実習 ⑧	デッサン カービング ワイヤー屈曲
102	総合実習	〃
103	総合実習	復習
104	総合実習	臨床的模型で製作
105	総合実習	〃

	106	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
	107	総合実習 ⑨	デッサン カービング ワイヤー屈曲
	108	総合実習	〃
	109	総合実習	復習
	110	総合実習	臨床的模型で製作
	111	総合実習	〃
	112	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など
	113	総合実習 ⑩	デッサン カービング ワイヤー屈曲
	114	総合実習	〃
	115	総合実習	復習

[illegible]

授業科目	卒業研究	担当教員	田中 聖一		
対象年次・学期	2 年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	各々テーマを決め専門分野の中から製作した作品について自ら学び研究する。				
到達目標	装置などについて目的、適応症・禁忌症、材料などについて研究し、理論と実践を結び付けて理解できる能力と技術力を磨き、パワーポイントを使用しながら説明することができる。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版) 他				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	パワーポイント作成 (60%)、発表 (30%)、取組姿勢 (10%) によって総合的に評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	0			
	その他	100			
履修上の留意事項	歯科技工実習の中で製作した自己課題の製作進度に合わせながらパワーポイントの製作を進める。、データなどの自己管理をきちんと行うこと。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	パワーポイント項目	パワーポイント発表を 20 分として、スライド項目決定		
	2	パワーポイントタイトル	スライド タイトル入力		
	3	スライド作成	製作理由		
	4	スライド作成	装置説明		
	5	スライド作成	適応症・禁忌症・利点・欠点		
	6	スライド作成	材料・器具		
	7	スライド作成	製作方法		
	8	スライド作成	製作手順		
	9	スライド作成	製作過程		
	10	スライド作成	製作過程		
	11	スライド作成	参考文献・考察・感想		
	12	発表予行練習	検証		
	13	スライド修正	検証・修正		
	14	スライド修正	修正		
	15	発表練習	練習		

[illegible]

授業科目	有床義歯技工学実習Ⅱ		担当教員	田中 聖一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	45回	時間数
授業目的	有床義歯における各々の装置の特徴や製作方法を学ぶ。				
到達目標	各補綴物の特徴や適応症、使用材料などを説明でき、適正に製作することができる。				
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 (医歯薬出版) 歯科技工実習 有床義歯技工学 (歯科技工学実習トレーニング)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	実習製作物によって評価をする。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	100			
	その他	0			
履修上の留意事項	教本を中心に進める。提出期日は厳守すること。メモを取りながら進めること。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	金属床義歯製作、模型製作・外形線記入	金属床義歯の特徴 模型製作 外形線記入		
	2	ブロックアウト・リリース・複印象・耐火模型製作	ビーディング リリース ブロックアウト 複印象 耐火模型製作 表面処理		
	3	ワックスアップ (練習用模型)	練習用模型でのワックスアップ 内側フィニッシュライン部形成 支台装置部		
	4	ワックスアップ (練習用模型)	格子部形成 口蓋部形成		
	5	ワックスアップ (本模型)	内側フィニッシュライン部形成		
	6	ワックスアップ (本模型)	支台装置部、格子部形成		
	7	ワックスアップ完成	口蓋部形成 表面仕上げ		
	8	埋没	スプルー線植立		
	9	鋳造・咬合器装着	高温鋳造および上下顎咬合器装着		
	10	研磨	耐火模型材および酸化膜をサンドブラスターで除去		
	11	研磨	スプルー線切断 バリ除去 形態修正		
	12	研磨	中研磨		
	13	研磨	電解研磨		
	14	研磨	仕上げ研磨 洗浄		
	15	人工歯排列	上顎右側臼歯部排列		
	16	人工歯排列	上顎左側臼歯部排列		
	17	歯肉形成	パラフィンワックス盛り上げ 上顎右側頬側部形成		
	18	歯肉形成	上顎左側頬側部形成 口蓋部形成 表面仕上げ		
	19	埋没・重合	埋没 レジン填入 重合		
	20	割り出し・研磨	割り出し 床縁部形態修正および粗研磨		
	21	研磨	中研磨		
	22	研磨	レーズ研磨		

	23	研磨	仕上げ研磨
	24	研磨	最終研磨
	25	完成	洗浄 完成
	26	支台歯となる歯のクラウンと支台装置の製作、模型製作	模型製作
	27	支台歯のワックスアップ	上顎左側第一小臼歯ワックスアップ
	28	支台歯のワックスアップ	上顎左側第一小臼歯ワックスアップ完成 右側第二大臼歯ワックスアップ
	29	支台歯のワックスアップ	右側第二大臼歯ワックスアップ完成
	30	支台歯のミリング	RPI クラスプ装着のためのミリング (ガイドプレーン レストアーム レストシート)
	31	支台歯のミリング	エーカースクラスプ装着のためのミリング (ガイドプレーン レストシート)
	32	埋没	埋没
	33	鑄造・屈曲	鑄造 上顎右側犬歯コンビネーション (ワイヤー部屈曲)
	34	研磨・支台歯の完成	研磨
	35	耐火模型の製作 (前準備)	リリーフ 外形線記入
	36	耐火模型の製作	耐火材注入
	37	各種支台装置のワックスアップ	RPI クラスプのワックスアップ
	38	各種支台装置のワックスアップ	エーカースのワックスアップ
	39	各種支台装置のワックスアップ 埋没	コンビネーションのワックスアップ スプルー線植立 埋没
	40	鑄造	鑄造
	41	研磨	粗研磨
	42	研磨	中研磨
	43	研磨	仕上げ研磨
	44	研磨	仕上げ研磨
	45	完成	洗浄 完成

[illegible]